



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「ウサギワールド」 ウサギと仲良し3年生

福江小学校

福江小学校の3年生は、毎年総合的な学習の時間に、飼育しているウサギについて学習しています。本校のウサギは、人が近づくと寄ってきます。歴代の3年生が大切に世話をしてきた成果です。春には、8羽の子ウサギが生まれ、全部で21羽となりました。

4月、新3年生はウサギの世話がしたくて、放課ごとにウサギ小屋に集まっており、ウサギの数より子どもの数の方が多かったです。さすがに、ウサギもストレスを感じてしまい元気がなくなりました。そこで、ウサギに詳しい亀山小学校の小笠原教頭先生を招き、世話の仕方を教えていただきました。「梅雨の前ぐらいの時期には、校庭の草を食べさせるとよい」と知った子どもたちは、ウサギを大事に抱きながら校庭に移動し、えさを食べさせ、ウサギと仲良く過ごすことができました。

今後はウサギについて調べ、分かったことを紙芝居にしたり、保育園の子たちを招いて、ウサギとのふれあい会をしたりする予定です。



●ウサギの世話をする児童



●ウサギの世話について話す小笠原先生



「春の環境整備作業」 裏山は、子どもたちの学び舎

伊良湖岬小学校



●作業が終わって休憩中



●実のなる木の世話をする児童

伊良湖・堀切・和地の3小学校統合から、今年で3年目になります。伊良湖岬小学校では、和地小学校の時代から続いている裏山の環境整備作業を、春と秋の年2回行っています。

5月10日(水)、PTA役員と伊良湖・堀切・一色・土田の保護者も参加し、前半は裏山を中心に、草刈りと遊歩道の落ち葉かきを行いました。

前半の作業が終わったら、コーヒー牛乳で休憩です。涼しい風に吹かれながら飲む冷たくて甘いコーヒー牛乳の味は格別で、疲れた体を癒やしてくれます。

後半は、各学年で決まっている「実のなる木」の世話です。ミカン・梅・スモモ・柿・夏ミカンの木の下草を取り、肥料を与えました。

小さい梅の実ができているのを見つけた子どもたちは、今年も収穫を楽しみにしているようでした。

裏山は、学習の場、体力作りの場、季節を感じる場として、これからも伊良湖岬小学校の子どもたちの身近な場所であり続けます。